

2025年3月期 第1四半期 決算説明

三菱ケミカルグループ
2024年8月1日

<2025年3月期 第1四半期 連結決算>

・ 決算サマリー	3
・ 連結損益計算書	4
・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	5
・ コア営業利益 (全社) 増減要因	6
・ 事業セグメント別 コア営業利益増減分析	7
・ 非経常項目	12
・ 連結キャッシュ・フロー計算書	13
・ 連結財政状態計算書	14
・ 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	15

<参考資料①>

・ 25/3月期 トピックス	17
・ 連結損益計算書 四半期別推移	18
・ コア営業利益増減分析	19
・ 事業セグメント別 EBITDAマージン推移	20

<参考資料②>

・ ファーマセグメント 研究開発の状況 等	22
-----------------------	----

<参考資料③>

・ スペシャルティマテリアルズ 市場別動向	28
-----------------------	----

2025年3月期 第1四半期決算

- 第1四半期の事業環境は、地域や業種により需要動向に濃淡はあるものの、概ね安定的に推移しました。ディスプレイ関連は中国の大型商戦や国際スポーツイベントの需要に伴い好調に推移し、半導体関連は生成AI関連需要の牽引により回復基調にある一方で、自動車や食品関連市場等の一部地域・分野においては軟調さがみられました。
- 各事業において価格マネジメントを推進したことや、MMAモノマーの市況が上昇したことにより、前年同期に比べ売買差が大きく改善しました。また、当期もコスト削減効果を積み上げました。一方で、炭素は赤字水準が続き、スペシャリティマテリアルズ及び産業ガスは数量差が悪化しました。その結果、グループ全体の売上収益は前年同期比6%の増収、コア営業利益は63%の増益となりました。
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、非経常利益が減少したことなどにより前年同期比7%の減益となりました。

2025年3月期 業績予想

- 第1四半期のコア営業利益は、期初に公表した上期業績予想に対して75%と想定を上回る進捗率となっております。
- 第2四半期以降、ディスプレイや食品関連等の需要動向が不透明であることに加えて、複数の事業構造改革案件に更なる精査が必要であり、現時点で業績への影響を取り込むことは困難であることから、期初公表の業績予想を据え置きます。

連結損益計算書

	139.6	158.2	18.6	13%	150.0	
為替レート (¥/\$)						
ナフサ単価 (¥/kl)	67,500	79,000	11,500	17%	75,000	
			(億円)		<参考>	
	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	増減	増減率	5/15発表 上期予想	進捗率
売上収益	10,612	11,294	682	6%	22,510	50%
コア営業利益 *1	508	826	318	63%	1,100	75%
非経常項目	189	24	△ 165		△ 260	
営業利益	697	850	153	22%	840	101%
税引前利益	688	770	82	12%	660	117%
四半期利益	558	563	5		420	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	425	397	△ 28	△7%	100	397%
非支配持分に帰属する四半期利益	133	166	33		320	
*1 内、持分法投資損益	27	19	△ 8			

コア営業利益は、営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

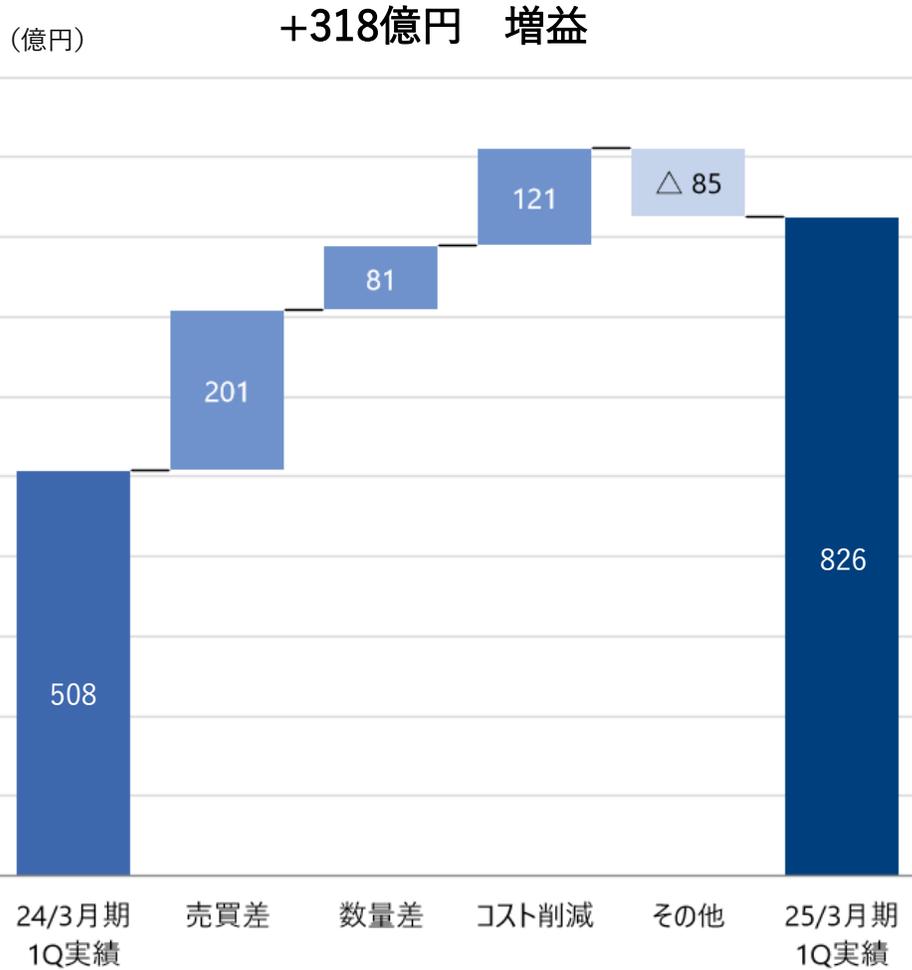
(億円)

	24/3月期 1Q実績		25/3月期 1Q実績		増減			
	売上収益	コア営業利益	売上収益	コア営業利益	売上収益	増減率	コア営業利益	増減率
全社	10,612	508	11,294	826	682	6%	318	63%
スペシャリティマテリアルズ	2,626	99	2,769	115	143	5%	16	16%
アドバンストフィルムズ&ポリマーズ	1,181	86	1,204	92	23		6	
アドバンストソリューションズ	887	5	883	31	△4		26	
アドバンストコンポジット&シェイプス	558	8	682	△8	124		△16	
産業ガス	3,068	401	3,275	474	207	7%	73	18%
ファーマ	1,019	100	1,125	185	106	10%	85	85%
MMA&デリバティブズ	901	△7	1,148	105	247	27%	112	-
MMA	690	△9	910	94	220		103	
コーティング&アディティブス	211	2	238	11	27		9	
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	2,592	△88	2,617	△68	25	1%	20	-
マテリアルズ&ポリマーズ	1,740	△52	1,867	15	127		67	
炭素	852	△36	750	△83	△102		△47	
その他	406	3	360	15	△46	△11%	12	400%

【在庫評価損益】	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	増減
マテリアルズ&ポリマーズ	△4	54	58
炭素	△2	△25	△23
合計	△6	29	35

- * 25/3月期よりセグメントを、「スペシャリティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ファーマ」、「MMA&デリバティブズ」、「ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ」、「その他」へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての24/3月期実績を組み替えております。
- * セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。
- * 24/3月期実績の新セグメントベースの組替後実績値を精査した結果、5/15発表時点の数値から一部変更しております。

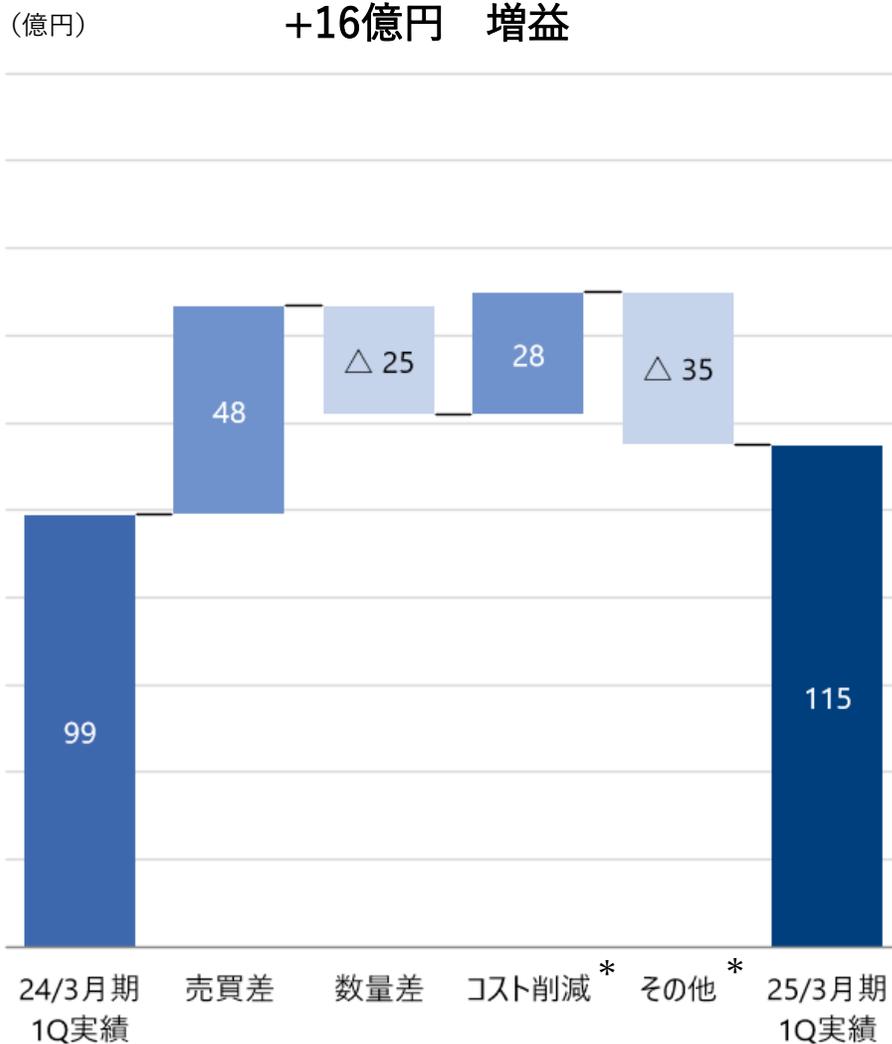
コア営業利益（全社） 増減要因



	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	増減	(億円)			
				売買差	数量差	コスト削減	その他 *1
全社	508	826	318	201	81	121	△ 85
スペシャルティマテリアルズ	99	115	16	48	△ 25	28	△ 35
産業ガス	401	474	73	50	△ 13	57	△ 21
ファーマ	100	185	85	8	104	3	△ 30
MMA&デリバティブズ	△ 7	105	112	107	7	9	△ 11
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	△ 88	△ 68	20	△ 17	3	15	19
その他	3	15	12	5	5	9	△ 7
為替影響			68	84	0	-	△ 16
うち換算差				60			

*1 在庫評価損益差+35億円・持分法投資損益差△8億円等の金額が含まれております。

スペシャルティマテリアルズセグメント コア営業利益増減分析



アドバンストフィルムズ&ポリマーズ (+6)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差 (+)	(+) ディスプレイ用途等の需要増加による増販 (-) バリア包材用途等の需要減少による減販

アドバンストソリューションズ (+26)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差	(+) ディスプレイ用途の需要増加や 半導体関連用途の緩やかな需要回復による増販

アドバンストコンポジット&シェイプス (△16)

売買差	(+) 販売価格の維持・向上による各種製品の売買差改善
数量差 (+)	(+) 高機能エンジニアリングプラスチックの緩やかな需要回復による増販 (-) 炭素繊維の一部用途の需要減少による減販

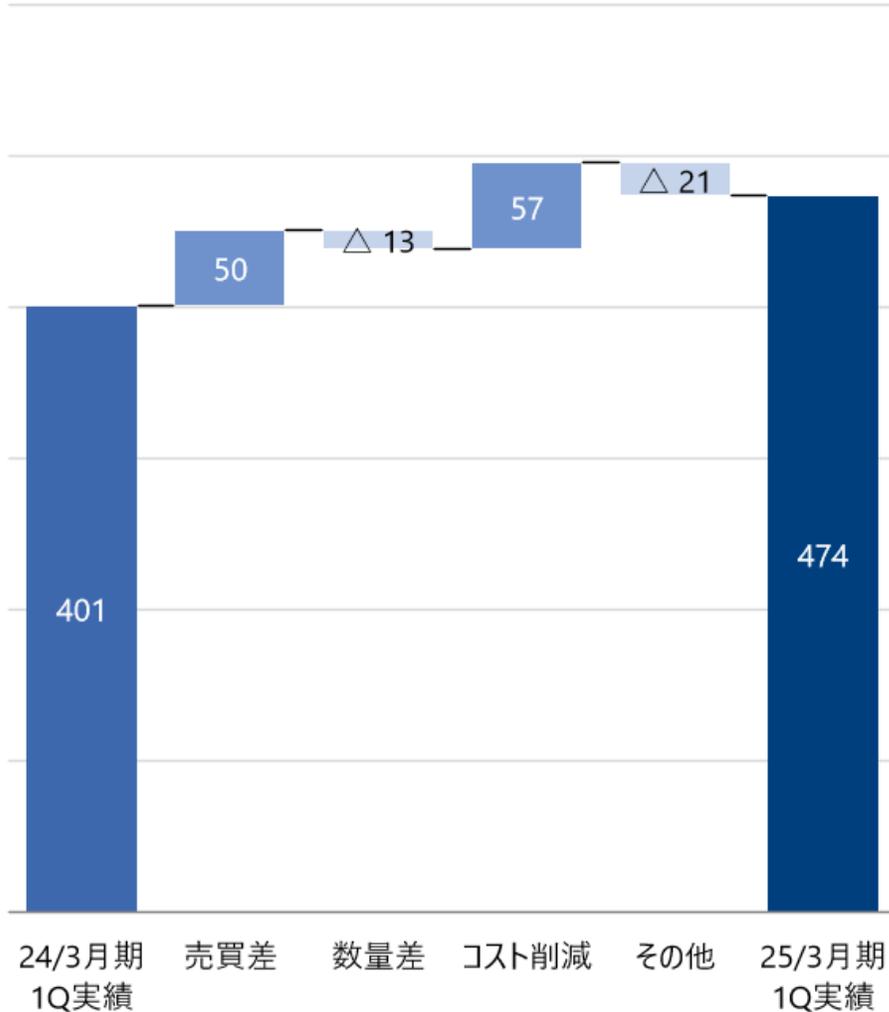
(※) コスト削減・その他内訳

コスト削減	(+) 事業構造改革、調達最適化、生産性向上等
その他	(-) 労務費等固定費の増加、 CPC社連結子会社化に伴う無形資産償却費の増加 等

産業ガスセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+73億円 増益



産業ガス (+73)

売買差

(+) 各地域での価格マネジメントによる売買差改善

コスト削減

(+) DX活用、プラント操業最適化などの生産性向上活動

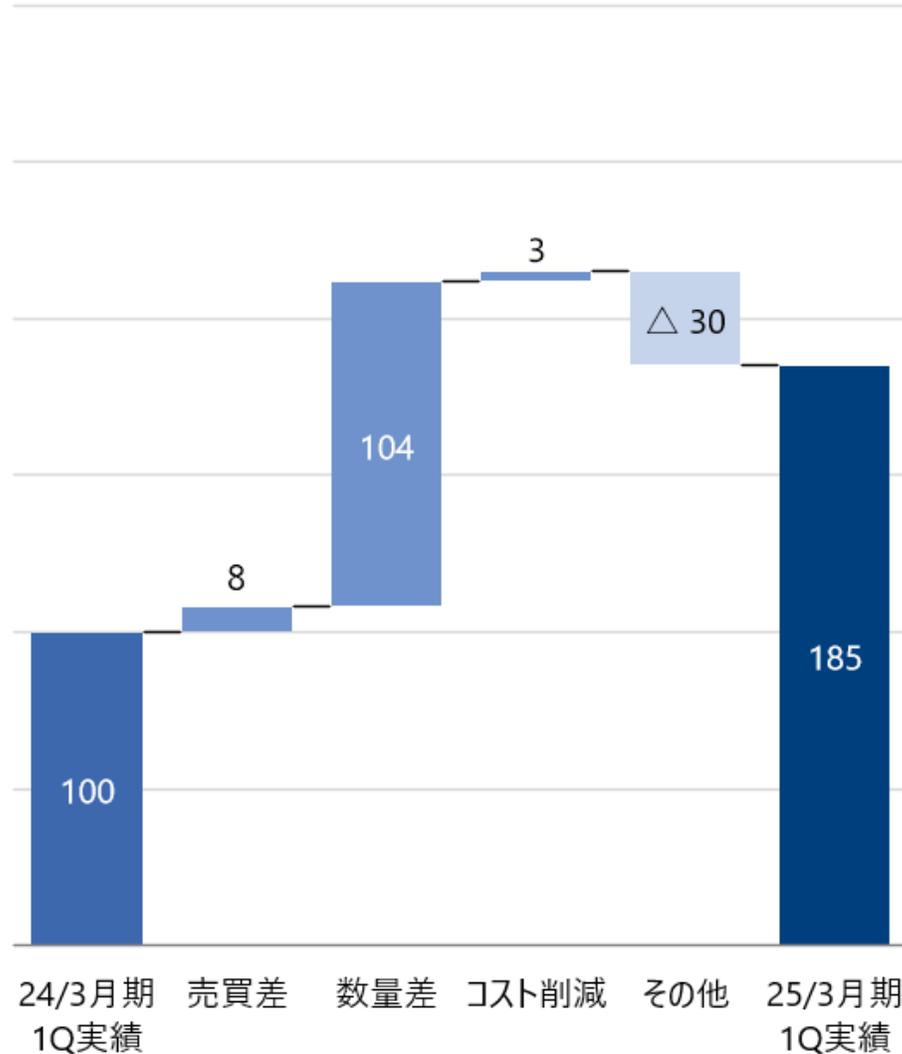
その他

(-) インフレによる費用の増加

ファーマセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+85億円 増益



ファーマ (+85)

売買差

- (+) 海外医療用医薬品の為替影響
- (-) 国内医療用医薬品の薬価改定影響

数量差

- (+) 北米でのALS治療薬ラジカヴァ経口剤の販売伸長
- (+) マンジャロの販売伸長
- (+) 5種混合ワクチン ゴービックの順調な立ち上がり

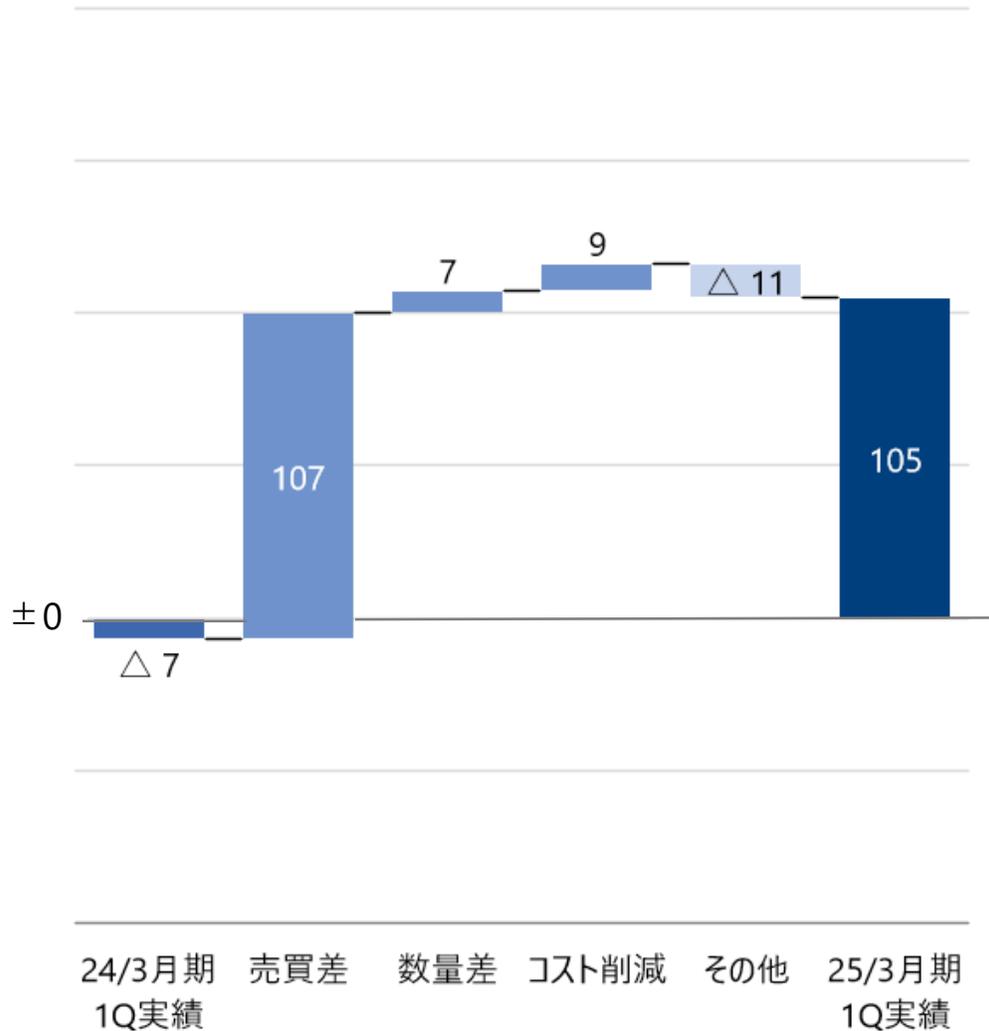
その他

- (-) 労務費等の固定費増加 等

MMA&デリバティブズセグメント コア営業利益増減分析

(億円)

+112億円 増益



MMA (+103)

売買差

(+) MMAモノマー等の市況上昇による売買差改善

コーティング&アディティブス (+9)

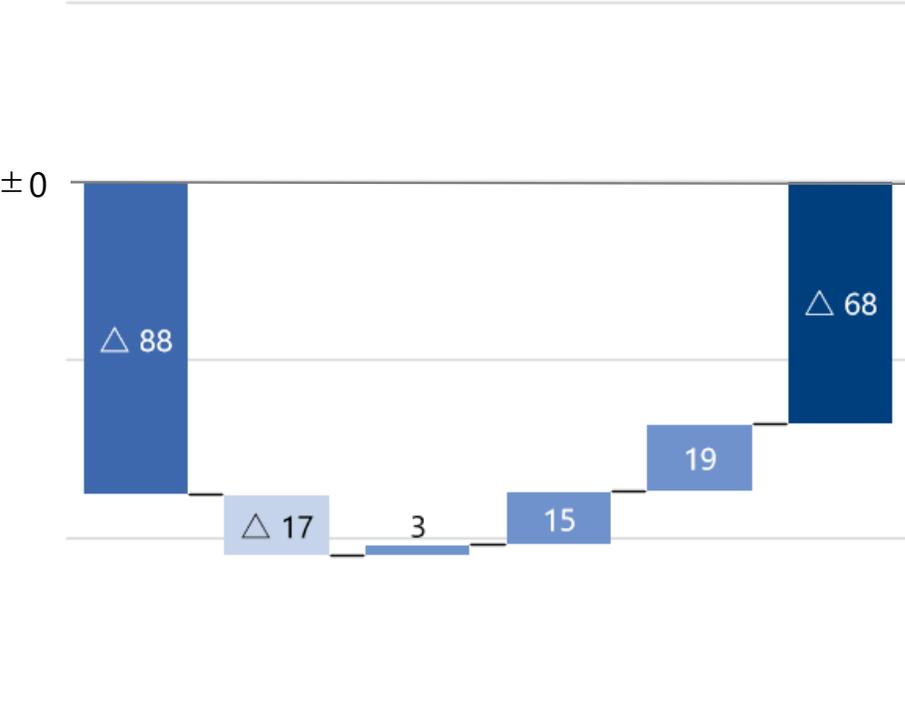
数量差

(+) 接着剤・インキ・添加剤用途等の緩やかな需要回復による増販

ベーシックマテリアルズ&ポリマーズセグメント コア営業利益増減分析



(億円) +20億円 赤字縮小



マテリアルズ&ポリマーズ (+67)

数量差 (+)

- (-) 定修規模拡大
- (+) 前期トラブル影響の縮小

その他

- (+) 原料価格上昇に伴う在庫評価損益の改善

炭素 (△47)

売買差

- (-) コークス市況の下落等による売買差悪化

その他

- (-) 原料価格下落に伴う在庫評価損益の悪化

24/3月期 1Q実績 売買差 数量差 コスト削減 その他 25/3月期 1Q実績

非経常項目

(億円)

	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	増減
非経常項目 合計	189	24	△ 165
排出枠売却益	-	27	27
固定資産売却益	8	15	7
工場閉鎖関連損失引当金戻入額	8	13	5
固定資産除売却損	△ 11	△ 12	△ 1
減損損失	△ 0	△ 8	△ 8
事業整理損失	△ 20	△ 3	17
関係会社株式売却益	56	-	△ 56
その他	148	△ 8	△ 156

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績
営業活動によるCF	550	739
税前損益	688	770
減価償却費	679	712
営業債権債務	190	302
棚卸資産	△ 129	△ 146
その他	△ 878	△ 899
投資活動によるCF	△ 573	△ 805
設備投資	△ 632	△ 865
資産売却	188	44
投融資 他	△ 129	16
FCF	△ 23	△ 66

	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績
財務活動によるCF	5	△ 173
有利子負債	282	126
配当 他	△ 277	△ 299
現金及び現金同等物の増減	△ 18	△ 239
為替換算差等	154	111
合計	136	△ 128

連結財政状態計算書

(億円)

	24/3月末	24/6月末	増減
現金及び現金同等物	2,949	2,821	△ 128
営業債権	8,524	8,395	△ 129
棚卸資産	7,992	8,287	295
その他	2,451	2,709	258
流動資産合計	21,916	22,212	296
固定資産	25,244	26,259	1,015
のれん	8,329	8,705	376
投融資等	5,556	5,735	179
非流動資産合計	39,129	40,699	1,570
資産合計	61,045	62,911	1,866

(億円)

	24/3月末	24/6月末	増減
有利子負債	23,382	24,059	677
営業債務	5,015	5,087	72
その他	9,893	9,631	△ 262
負債合計	38,290	38,777	487
資本金・剰余金等	15,029	15,212	183
その他の資本の構成要素	2,606	3,378	772
親会社の所有者に帰属する持分	17,635	18,590	955
非支配持分	5,120	5,544	424
資本合計	22,755	24,134	1,379
負債・資本合計	61,045	62,911	1,866
ネット有利子負債 *1	20,433	21,238	805
ネットD/Eレシオ	1.16	1.14	△ 0.02
ROE *2	7.2%	-	-

*1 ネット有利子負債(24/6月末)

=有利子負債24,059億円-(現金・現金同等物2,821億円+手元運用資金残高-) 注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

(億円)

	24/3月期					25/3月期	25/3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	上期	下期	予想	
全社	売上収益	10,612	10,887	10,952	11,421	43,872	11,294	22,510	23,720	46,230
	コア営業利益	508	688	643	242	2,081	826	1,100	1,400	2,500
スペシャルティマテリアルズ	売上収益	2,626	2,576	2,567	2,669	10,438	2,769	5,510	5,780	11,290
	コア営業利益	99	89	6	△ 120	74	115	100	140	240
アドバンスフィルムズ&ポリマーズ	売上収益	1,181	1,158	1,136	1,116	4,591	1,204	2,400	2,480	4,880
	コア営業利益	86	80	42	△ 25	183	92	100	100	200
アドバンスソリューションズ	売上収益	887	888	926	928	3,629	883	1,800	1,920	3,720
	コア営業利益	5	23	4	△ 26	6	31	10	30	40
アドバンスコンポジット&シェイプス	売上収益	558	530	505	625	2,218	682	1,310	1,380	2,690
	コア営業利益	8	△ 14	△ 40	△ 69	△ 115	△ 8	△ 10	10	0
産業ガス	売上収益	3,068	3,014	3,142	3,245	12,469	3,275	6,460	6,460	12,920
	コア営業利益	401	402	422	405	1,630	474	870	870	1,740
ファーマ	売上収益	1,019	1,174	1,186	993	4,372	1,125	2,200	2,290	4,490
	コア営業利益	100	224	230	9	563	185	220	200	420
MMA&デリバティブズ	売上収益	901	912	908	963	3,684	1,148	1,940	1,920	3,860
	コア営業利益	△ 7	29	△ 16	15	21	105	70	90	160
MMA	売上収益	690	694	687	745	2,816	910	1,490	1,450	2,940
	コア営業利益	△ 9	25	△ 19	10	7	94	60	80	140
コーティング&アディティブス	売上収益	211	218	221	218	868	238	450	470	920
	コア営業利益	2	4	3	5	14	11	10	10	20
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	売上収益	2,592	2,695	2,781	2,793	10,861	2,617	5,520	6,210	11,730
	コア営業利益	△ 88	△ 59	18	△ 91	△ 220	△ 68	△ 130	90	△ 40
マテリアルズ&ポリマーズ	売上収益	1,740	1,981	2,067	2,036	7,824	1,867	3,990	4,320	8,310
	コア営業利益	△ 52	6	42	△ 22	△ 26	15	10	80	90
炭素	売上収益	852	714	714	757	3,037	750	1,530	1,890	3,420
	コア営業利益	△ 36	△ 65	△ 24	△ 69	△ 194	△ 83	△ 140	10	△ 130
その他	売上収益	406	516	368	758	2,048	360	880	1,060	1,940
	コア営業利益	3	3	△ 17	24	13	15	△ 30	10	△ 20

- * 25/3月期よりセグメントを、「スペシャルティマテリアルズ」、「産業ガス」、「ファーマ」、「MMA&デリバティブズ」、「ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ」、「その他」へ変更しております。あわせて、一部の事業の所管セグメントを見直しており、比較情報としての24/3月期実績を組み替えております。
- * セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。
- * 24/3月期実績の新セグメントベースの組替後実績値を精査した結果、5/15発表時点の数値から一部変更しております。

参考資料①

スペシャリティマテリアルズ

- 半導体デバイスの微細化に伴うArF用及びEUV用フォトレジストの需要拡大に対応するとともにサプライチェーンの強靱化を図るため、九州事業所・福岡地区において、フォトレジスト用感光性ポリマー「リソマックス™」の生産能力を増強することを決定しました。ArFフォトレジスト用「リソマックス™」は生産能力を2倍以上に増強するとともに、EUVフォトレジスト用「リソマックス™」の量産を新たに開始します。稼働時期は、ArFフォトレジスト用「リソマックス™」は2025年10月、EUVフォトレジスト用「リソマックス™」は2025年9月を予定しています。

産業ガス

- 豪州において、Wesfarmers Chemicals, Energy and Fertilisers社のLPG事業を担うWesfarmers Kleenheat Gas Pty Ltd（以下「Kleenheat社」）のウェスタンオーストラリア州とノーザンテリトリー州のLPG販売事業を取得することについて、Kleenheat社と売買契約書を2024年5月に締結しました。

ファーマ

- 米国食品医薬品局より、米国製品「RADICAVA ORS®」（一般名：エダラボン）のALS（筋萎縮性側索硬化症）治療用途に関して、2022年5月12日の「RADICAVA ORS®」承認から7年間の希少疾病用医薬品排他的承認を2024年3月に受けました。

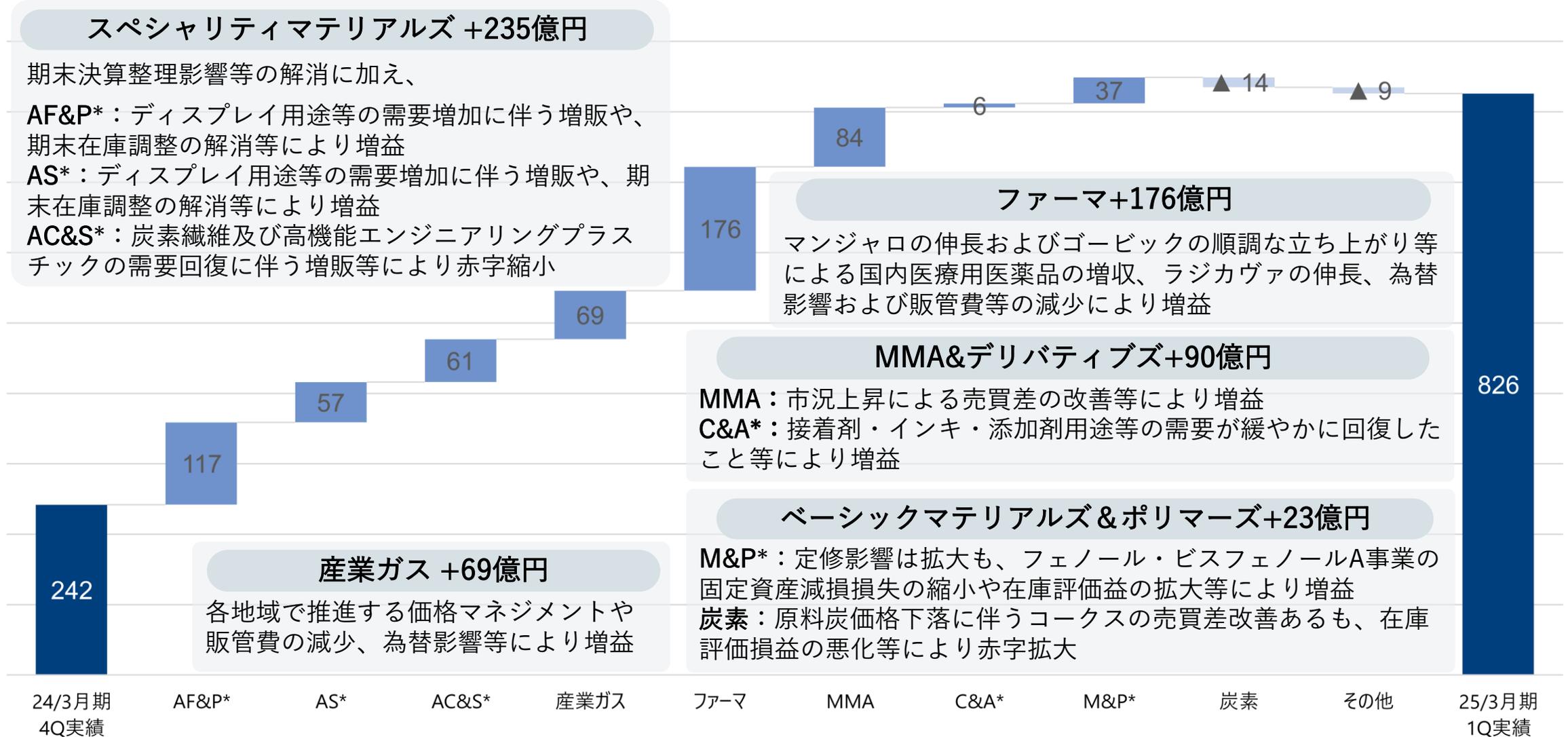
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ

- 旭化成株式会社及び三井化学株式会社と共同で、西日本に各社が保有するエチレン製造設備について、カーボンニュートラルを推進し、脱炭素社会をリードするため、原燃料転換等の検討を進めることを決定しました。

連結損益計算書 四半期別推移

	為替レート (¥/\$)	139.6	145.6	146.1	149.9	145.3	158.2
	ナフサ単価 (¥/kl)	67,500	63,600	72,800	72,500	69,100	79,000
							(億円)
		24/3月期					25/3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
売上収益		10,612	10,887	10,952	11,421	43,872	11,294
コア営業利益 *1		508	688	643	242	2,081	826
非経常項目		189	1	96	251	537	24
営業利益		697	689	739	493	2,618	850
金融収益・費用		△ 9	△ 75	△ 123	△ 6	△ 213	△ 80
(内、受取配当金)		(46)	(1)	(13)	(2)	(62)	(24)
(内、為替差損益)		(45)	(27)	(△ 42)	(45)	(75)	(42)
税引前利益		688	614	616	487	2,405	770
法人所得税		△ 130	△ 231	△ 114	△ 146	△ 621	△ 207
当期利益		558	383	502	341	1,784	563
親会社の所有者に帰属する 当期利益		425	247	367	157	1,196	397
非支配持分に帰属する当期利益		133	136	135	184	588	166
*1 内、持分法投資損益		27	15	23	11	76	19

コア営業利益増減分析（24/3月期 4Q実績 → 25/3月期 1Q実績）



*AF&P=アドバンスフィルムズ&ポリマーズ、AS=アドバンスソリューションズ、AC&S=アドバンスコンポジット&シェイプス、C&A=コーティング&アディティブス、M&P=マテリアルズ&ポリマーズ

+584億円

事業セグメント別 EBITDAマージン推移

	24/3月期	25/3月期 1Q	25/3月期 予想
全社	10.8%	13.4%	11.2%
スペシャリティマテリアルズ	6.6%	10.4%	8.0%
産業ガス	22.0%	23.4%	22.1%
ファーマ	15.9%	19.5%	12.9%
MMA&デリバティブズ	7.4%	13.9%	10.4%
ベーシックマテリアルズ&ポリマーズ	2.0%	1.5%	2.7%

EBITDA：コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費

参考資料②

ファーマセグメント 研究開発の状況 等

主な開発パイプライン 一覧

2024年7月25日現在

領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本 ^{*1}	重症筋無力症					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性强皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-0551	日本 ^{*1}	IgG4関連疾患					
		日本	全身性强皮症					
がん	MT-2111	日本	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (単剤療法)					
		日本 ^{*2}	再発又は難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (リツキシマブとの併用療法)					

^{*1}アムジェン社と共同開発

^{*2} ADCセラピューティクス社と共同開発

主な開発パイプラインの上市計画

	25/3月期	26/3月期	27/3月期以降
中枢神経	ND0612 パーキンソン病 (グローバル)		MT-0551 重症筋無力症 (日本*1)
免疫炎症			MT-0551 IgG4関連疾患 (日本*1)
			MT-7117 EPP, XLP (グローバル)
糖尿病・腎	カナグルOD錠 2型糖尿病、2型糖尿病を合併する 慢性腎臓病*2 (日本)	カナリア配合OD錠 2型糖尿病*3 (日本)	
がん			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (単剤療法) (日本)
			MT-2111 再発又は難治性びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫 (リツキシマブと の併用療法) (日本*4)

*1 アムジェン社と共同開発

*2 2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く

*3 2型糖尿病 ただし、テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物及びカナグリフロジン水和物の併用による治療が適切と判断される場合に限る

*4 ADCセラピューティクス社と共同開発

 : グローバル (米国上市年度)

 : 日本

 : 上市済み

「カナグルOD錠」日本で発売（2024年5月）

- 2型糖尿病と共に生きる人の治療満足度と利便性の向上
 - 口腔内の唾液等、少量の水で崩壊することから、飲みやすさが期待される剤形*1
 - 水なしでも服用でき、利便性の向上と服薬継続が期待される
 - 選択的DPP-4阻害剤「テネリア錠」に続く、OD錠

- 環境に配慮したPTPシート*2を採用

- バイオマスプラスチック製PTPシート
（三菱ケミカル株式会社製品）
- 石油を原料とするプラスチックを使用したPTPシートと比較し、二酸化炭素排出量を30～70%削減*3



*1 田辺三菱製薬株式会社: カナグル錠 100mg 医薬品インタビューフォーム第13版（2024年5月改定）

*2 PTP（Press Through Pack）シート：錠剤やカプセル錠をプラスチックとアルミで挟んだシート状のもの。

*3 データ提供元：三菱ケミカル株式会社。同様の透湿性を有するPTPシートの場合。使用する係数により数値が変わります

医薬品事業 損益計算書 (2025年3月期 1Q実績)

	(億円)			増減率	<参考>	
	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	増減		5/15発表 上期予想	進捗率
売上収益	1,019	1,125	106	10.4%	2,200	51.1%
国内	769	765	△ 4	△ 0.5%	1,580	48.4%
海外	250	360	110	43.8%	620	58.0%
海外売上比率	24.5%	32.0%			28.2%	
売上原価	535	534	△ 2	△ 0.3%	1,100	48.5%
売上原価率	52.5%	47.5%			50.0%	
売上総利益	484	591	107	22.2%	1,100	53.7%
販管費等	383	411	28	7.4%	880	46.8%
研究開発費	146	154	8	5.8%	310	49.8%
コア営業利益	101	180	79	78.1%	220	81.7%
非経常項目	131	△ 11	△ 142		35	
営業利益	231	169	△ 63	△ 27.2%	255	66.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	238	141	△ 97	△ 40.9%	130	108.1%

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+39億円、コア営業利益で約+12億円の影響がありました。

医薬品 製品別売上収益（2025年3月期 1Q実績）

	(億円)			<参考>		
	24/3月期 1Q実績	25/3月期 1Q実績	増減	増減率	5/15発表 上期予想	進捗率
国内医療用医薬品	743	739	△ 4	△ 0.6%	1,524	48.5%
重点品・新製品	434	424	△ 11	△ 2.5%	809	52.4%
ステラーラ	169	153	△ 17	△ 9.8%	308	49.6%
シンポニー	114	109	△ 4	△ 3.9%	215	50.9%
テネリア	26	31	+ 5	19.1%	41	75.3%
カナグル	32	35	+ 3	10.3%	59	59.3%
カナリア	29	11	△ 18	△ 62.5%	35	31.2%
バフセオ	6	6	+ 0	4.7%	12	52.5%
ユプリズナ	14	23	+ 9	63.5%	36	63.2%
ルバフィン	20	20	+ 1	2.8%	36	56.2%
ジスバル	13	20	+ 7	49.5%	36	54.9%
ラジカット	12	16	+ 4	30.4%	32	50.6%
ワクチン	67	79	+ 12	17.3%	238	33.0%
インフルエンザ	△ 0	0	+ 0	-	75	0.0%
ゴービック	-	27	+ 27	-	68	40.7%
テトラビック	27	10	△ 17	△ 62.2%	22	46.5%
ジェービックV	9	9	+ 0	1.2%	20	48.2%
ミールビック	17	17	+ 1	4.7%	26	66.3%
水痘ワクチン	11	10	△ 1	△ 5.1%	20	50.1%
長期収載品等	242	237	△ 5	△ 2.0%	478	49.6%
レミケード	81	64	△ 17	△ 20.6%	128	50.0%
海外医療用医薬品	236	324	+ 88	37.4%	554	58.5%
ラジカヴァ	159	242	+ 82	51.4%	408	59.1%
ロイヤリティ収入等	18	39	+ 21	121.6%	非開示	
インヴォカナ ロイヤリティ	12	18	+ 7	56.4%	非開示	
ジレニア ロイヤリティ	△ 7	14	+ 21	-	非開示	

参考資料③

スペシャリティマテリアルズ 市場別動向

スペシャリティマテリアルズ・最重要戦略市場動向

最重要戦略市場		主要製品	2025年3月期 第1四半期 概況	2025年3月期 第2四半期以降 見通し
EV/モビリティ		電解液 繊維強化プラスチック・ 複合材料 コンパウンド	国内や欧州においては生産減による影響が見られたものの、北米やインドにおいては堅調継続	地域により濃淡はあるも、中長期的には総じて緩やかな成長継続を見込む
デジタル	半導体	半導体洗浄サービス エポキシ樹脂 半導体装置パーツ フォトリソグラフィー関連材料	AI関連は好調も、民生・産業・自動車用途等は低調継続	2024年度下期以降にかけて緩やかな回復を見込む 中長期的には一層の需要拡大により市場成長は続く見通し
	エレクトロニクス	光学用フィルム ディスプレイ関連材料	パネルメーカーの高稼働継続	2024年度2Qは在庫調整によりパネルメーカーの稼働は一服する見込み 中長期的にはTVの大型化に伴い堅調な需要継続
メディカル		インプラント用樹脂・素材	グローバルで堅調に推移	中長期的には高齢化人口の増加、生活習慣病や慢性疾患の罹患率の増加により市場成長は続く見通し
食品		乳化剤 包装フィルム 包装材料	インフレの影響等によりグローバルで食品包装材市場は軟調に推移	食品包装材市場はインフレの影響が残るも2024年度下期にかけて緩やかに持ち直し 中長期的にはフードロス削減等のニーズを背景に需要拡大を見込む

スペシャルティマテリアルズ・市場別 売上収益及びEBITDA

(億円)

	24/3月期 実績		25/3月期 1Q実績		25/3月期 予想		26/3月期 目標	
	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA	売上収益	EBITDA
スペシャルティマテリアルズ	11,700	720	3,200	310	12,900	880	13,700	2,250
EV/モビリティ	2,100	110	550	50	2,400	160	2,500	340
デジタル	2,400	280	700	120	2,700	280	3,500	750
半導体	1,000	130	250	40	1,000	150	-	-
エレクトロニクス	1,400	150	450	80	1,700	130	-	-
メディカル	600	60	200	20	700	90	1,600	300
食品	2,000	300	500	50	2,100	260	2,200	390
産業材、消費財、建設等	4,600	△ 30	1,250	70	5,000	90	3,900	470

* 市場別内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

* 上記数値は24年3月期までのスペシャルティマテリアルズセグメントベース。

ここで記す「説明会」とは、三菱ケミカルグループ株式会社（以下、「当社」）によって説明または配布された本資料、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を含みます。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

なお、医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。